

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2023年11月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**81社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**5,181件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**1,438件**の対象を検知しISPへ通知。

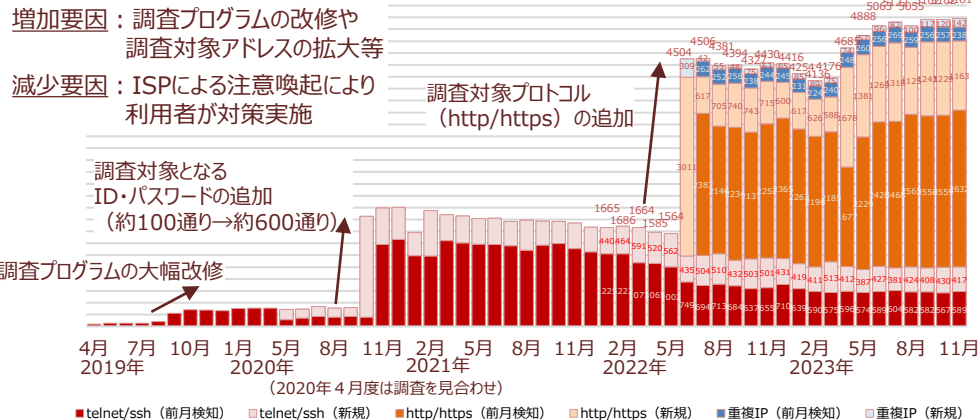
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

5,181件 (10月度:5,162件)

(参考) 2019年度からの累積件数 : 123,068件
ID・パスワードが入力可能だったもの : 27.7万件

*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



NICTER注意喚起※の取組結果

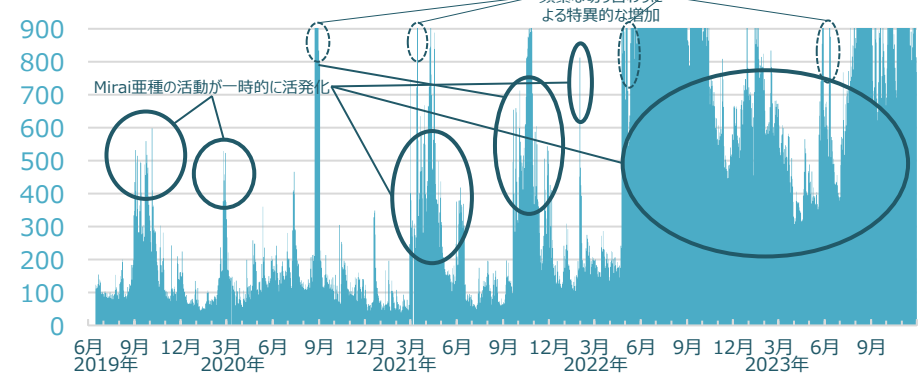
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均1,438件 (10月度:2,566件)

(参考) 期間全体での値 : 1日平均528件
最小 : 40件(2021/2/10) / 最大 : 6,300件(2023/10/23)

***) NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬以降の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。